

いきいきとした町づくりをめざして

議会だより

# ガウラ

No. 55

2011.4.30発行

- 課設置条例の  
改正案を否決 — 2
- 特集 (東日本大震災)  
だいじょうぶ?  
「道の駅」 — 4
- 中学校改築・防災シリーズ — 5
- 9 議員が一般質問 — 6
- 7 ▶ 15
- スポーツクラブ紹介 — 16



ピッカピカの!

# 勝浦中学校改築

23年度事業費

# 7億4,172万円

## 23年度一般会計当初予算

# 38億9,800万円(前年比)25%増

3月  
定例会

課設置条例の改正案



# 廃案に

(総務税務課を二課に)

三月定例会は九日から二十二日までの十四日間開かれ、二十二年度補正予算や条例の制定などについて審議し、課設置条例の一部を改正する条例については討論、採決の結果、反対七、賛成二で否決、廃案となり、二十三年度一般会計予算などについては、全会一致で可決しました。また、一般質問では全議員が登壇し、町の考えを問い、町政全般にわたり鋭い指摘をしました。

## 一般会計予算の主なもの

- 子ども手当 ..... 1億496万円
- 介護施設関連補助金 ..... 3,540万円
- 保育所運営費負担金 ..... 1億843万円
- 勝中仮設校舎設置事業<sup>(23年度分)</sup> 1億4,259万円
- 公債費<sup>(借金返済)</sup> ..... 4億3,988万円

## 議案に対する主な質疑

問

当初予算三十八億九千八百万円は、国会審議の遅れや東日本大震災の復旧に莫大な経費が必要で、予算執行が計画どおり進むのか。

答

国、県からの正確な情報を収集して様々なことを想定し、スムーズな対応ができるよう努力して行きたい。

問

なぜ、今、総務と税務を分けなければいけないのか。

議会では産業建設課の事務・事業に遅れがあると再三指摘しているが。

答

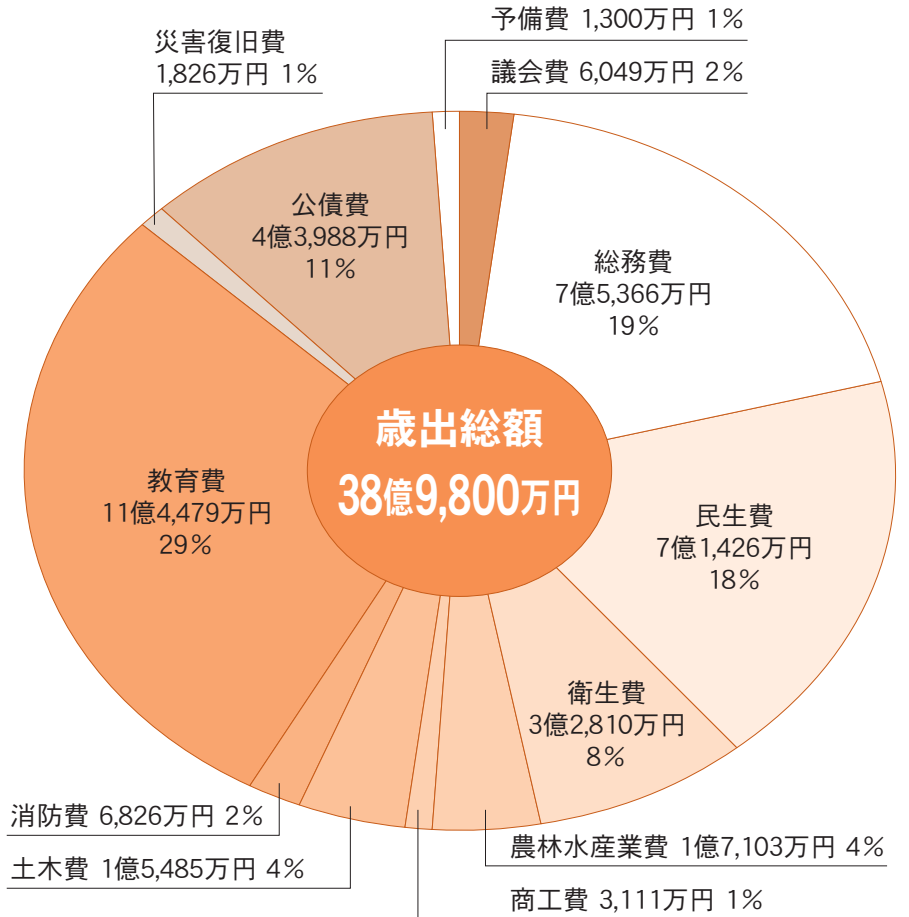
総務と税務を分け企画を充実し、産業建設課は人員増で対応する。

# 一般会計予算(歳出)

## 特別会計予算総額

# 25億9,614万円

介護保険	7億2,866万円
農業集落排水	2,715万円
簡易水道	7,070万円
老人保健	242万円
国民健康保険	8億4,875万円
勝浦病院	8億2,760万円
住宅新築資金	332万円
後期高齢者医療	7,124万円
物産販売(道の駅)	1,630万円



## ◆◆◆ 永年勤続表彰 ◆◆◆



川端雅夫 議員



森 健 議員

全国町村議会議長会から森議員(15年)、徳島県町村議会議長会から川端議員(11年)が表彰を受けました。

## 勝浦町人権擁護委員

美馬晴幸氏(三溪)

推せんに同意しました。

## 課設置条例

### 討論採決の結果



現在の総務税務課を総務企画課と税務課の二課に分ける条例改正案が提出され、討論となりました。

### 反対 国清議員

課の統廃合は行政改革の根幹をなすもので、推進本部の会議も開かれず議会の指摘も考慮されていない。課長会でも十分協議されていないなど、庁内の意思統一が図られていない。時期尚早だ。

賛成討論はなく、採決の結果、反対七、賛成二で否決しました。

### 採決 ▶ 反対議員

鄒、国清、森本、山野、松田、井出、大西

### ▶ 賛成議員

森、西浜

# 東日本大震災

どう動いた  
勝浦町!



三月十一日に未曾有の東日本大震災が発生し、マスコミ報道の時間の経過とともに、その被害規模の大きさに全国民が震かんした。

震災後三日がたっても、町の支援対応に具体的な動きが見られないことから、議会再開の三月十五日議事を中断し、急ぎよ全員協議会を開催、町の動きを聞いたが県の指示待ちと言ったことであった。議会から、町として直ちに「災害支援本部」を立ち上げ、町民からの窓口として対応すべきと強く要望した。



救護物資の仕分け作業に協力する町職員

三月十五日午後五時に町長を本部長とし区長会、日赤奉仕団、社会福祉協議会で組織する「勝浦町東北地方太平洋沖地震支援対策本部」を設立。日赤奉仕団では三月十六日から義援金を募集し、三月末日で約三百万円の募金があった。町も義援金二百万円を支出した。

また、交流のある千葉県勝浦市から、原発の關係で飲料水に不安があるとのことから、ミネラルウォーター四千二百リを送り、県からの職員派遣要請に対して町から笠木係長を宮城県に派遣した。



ひなまつり会場で義援金に協力

## これからの防災

大震災で日本が一変した。日本の原発は安全性では最先端と言われていたが、今回の事故でエネルギー戦略の見直しが必要になった。国内では電気社会の限界を感じ、ものの価値観も変わった。

国、県、市町村を問わず、今までの「防災計画」では対応仕切れない想定外のことが多過ぎた。

まず取り組まなければならないことは、

- ① 「防災計画」の大幅な見直し。
- ② 各地域における実践的な「防災訓練」。
- ③ 「防災想定」と被害を最小限に押さえる「防災対策」。

などがこれからの防災の基本となるが、災害時の瞬時の対応は、各地区「自主防災組織」の行動力にかかってくる。今後、いかに充実するかが課題である。



道の駅「ひなの里かつうら」

## 総務産建常任委員会

三月定例会に向けての委員会を三月一日と二日に開催し、補正予算や新年度予算、条例改正案などを審議しました。

だいじょうぶ？

### 「道の駅」管理運営

去年の秋に道の駅が「ひなの里かつうら」に命名され、国土交通省に登録をされるのに伴い、施設の設置及び管理条例が提案された。

しかし、すでに営業を始めているブースもあり、条例制定前の見切り発車で、使用料をどうするのかなど管理運営に問題を残した。

また、販売手数料が「よってネ市」より高いなど反対する意見もあった。

いま、なぜ！

### 課を増やすのか

総合計画の実行？（町長）

事前協議もなく、委員会に現在の総務税務課を「総務企画課」と「税務課」に分けて四課を五課とする条例改正案が提案された。

町長は、総合計画の実行など理由を上げて説明したが、全議員の意見を聞くため急ぎよ「全員協議会」を開き協議した。

再度委員会を開いて、三月定例会に提案すべきかどうかで審議した結果、可否同数となり、委員長裁決で提案することとした。

## 文教厚生常任委員会

3月3日と4日、3月定例会に向けて補正予算、新年度予算などを審議しました。

### グループホーム増設

勝浦町では認知症で援護を必要とする高齢者が増加する傾向にあり、グループホームの増設が望まれていた。

地域介護充実のため、新年度に国の補助制度を利用して約3,500万円の予算で「あゆの里」東側に九床の増設を予定。



グループホーム増設予定地

### ごみ焼却場、し尿処理場視察

現在、ごみ焼却とし尿処理については小松島市に委託しているが、現状の問題点と今後の課題について2月23日に視察研修を行った。

ごみ焼却場ではダイオキシン対策や重油高騰

の影響について、し尿処理場では排水問題や周辺対策について質疑を行った。

# 勝浦中学校 改築調査特別委員会

二月十六日

## 地元業者に発注を

二月二日の仮設校舎設置工事入札公告について説明があった。

- 工事金額 一億五九二七万八千円
- 工事概要 仮設校舎設置・撤去工事
- 施工期間 平成二十三年四月一日から平成二十四年十二月三十一日まで

解体工事については、できるだけ地元業者に発注するよう要望した。

また、新校舎の設計状況について説明があり、グラウンドが前回より1m広くなったことや、落葉樹の植栽については、管理の面からよく検討するよう要望した。

二月二十八日

## 新築工事予算

### 二十三年度は七億四一七二万円

勝浦中学校の改築費用は総額で約十三億円が見込まれるが、二十三年度は七億四一七二万円が計上される。県産材の使用割合によっては、費用の変更もある。

仮設校舎への引っ越しは夏休みを利用して行う予定だが、スケジュールの確認や方法について質疑が行われた。



子供も参加し消火訓練

## 防災シリーズ



# 初期消火訓練を実施

中山区自主防災隊

昨年の九月五日、区民約百三十名が区内に設置されている十カ所の消火栓に分散して集合し、第四分団の指導のもと、ホースの接続や消火栓の操作、放水訓練を行いました。その後、参加者全員が第四分団詰所前に集合し、子供を含めた区民が交代で火災発生時



消火栓の操作説明を受ける

における初期消火として、大切な消火器の使用方法について訓練を行いました。

先日の東日本大震災で津波による未曾有の大被害が発生しました。

今後、いつ、どこで発生するかわからない南海・東南海地震に備えて年一回の防災訓練だけでなく、町と

区役員、消防団、婦人会等が普段から連携を図り、自然災害時における避難所の確認や避難方法等のきめ細かい防災訓練を定期的に行い、住民全員の防災意識の高揚を図りたい。

(中山区長 溝内康宏)

交流元年

## 「100万人構想」

「道の駅」を

交流の起爆剤に（副町長）

国清 一治 議員



**問**

大型バス駐車場やトイレが完備された待望の「道の駅」が三月十二日にオープンし、実質的な「交流元年」を迎える。

町の人口が六千人を切り十年後には五千人になると予測されるなか、町の農・商・工の活性化には、交流・移動人口を増やすことが唯一の施策である。年間交流



グランドオープンした「道の駅」

人口「100万人構想」を推進すべきと思うが、その現状と施策は。

**答** 産業建設課長

現在の交流人口は町内の観光地や交流施設、JA「よつてネ市」、イベントなどを合わせると五十万人ぐらいと推測される。

**答** 副町長

今後、道の駅「ひなの里かつうら」を交流の起爆剤、拠点施設として情報館で町の魅力を発信し、観光・交流人口の増加に努めたい。

**問**

交流人口「100万人構想」はサプライズではない。現状の二倍にすることで、町の魅力をいかに伝えるかである。

「道の駅」の交流発信の新たな手段として、インターネットの動画中継サイト「ユーストリーム」を利用している。

**答** 町長

情報発信の手段として取り入れて行きたい。

どう整備、改修する

人形文化交流館

改修の必要あり

調査、研究したい

（町長）

**問**

「よつてネ市」、「道の駅」が整備されたが、隣接する「人形文化交流館」の老朽化が目立つ。

町は整備すると言いつつ、いまだ手付かずだが、今後どう対応するのか。

**答** 町長

改修の必要性を大いに感じていて、補助事業など調査、研究したい。

除外農地が多い

中山間直接支払制度

必要に応じ

県に要望したい

（副町長）

**問**

中山間地域等直接支払制度に町は積極的な推進を掲げながら、協定農家数、面積とも大幅な減となっている。

今まで該当していた農地が除外されるなど、測量による勾配のとり方に問題がある。町長の裁量権の発揮や知事にも対象農用地指定を要望すべきである。

**答** 副町長

知事が特認した箇所について指定することになっていて、必要に応じて県に要望して行きたい。

## 鳥インフルエンザ

### 予防対策は万全か

#### 県が立ち入り検査を実施

(産業建設課長)

節 公一議員



#### 問

二月八日、那賀町でフクロウの死が、いから強毒性の鳥インフルエンザウイルスが検出された。宮崎県、島根県に続き新たに千葉県でも発生し、感染の危険が近づいているが町内業者の予防対策は万全か。

また、野鳥やニワトリで異常が発見された場合、県



鳥インフルエンザ対策が取られている鶏舎

との緊急通報システムや初動体制は整備されているのか。

#### 答 産業建設課長

他県で発生した直後に県の担当者が業者に対して立ち入り検査を実施し、石灰などを配布している。町も職員の巡回を実施しているが問題点はなかった。

異常が発見された場合、県との情報交換については時間外を含め、通報体制はできている。

#### 答 町長

万が一発生した場合に備えて、対策本部の設置や出動体制のマニュアルが作成されており、シミュレーションも実施している。

#### 美しい森林づくり事業 今後の取り組みは

#### 問

この事業は平成二十年度から五年間の予定で始まり二年間実施されたが、二十二年度に続き新年度も計画されていない。森林の間伐は水源確保や防災、環境、林業振興など多岐に渡って大きな効果があり推進すべき事業である。今後の取り組みは。

#### 答 町長

土地の所有者および境界の確定が条件であるため推進が難しい。

しかし、町の総合計画の中にもある通り、森林の間伐については毎年計画を立て実施して行く。

#### 「道の駅」

#### 運営基盤の確立を

#### 問

三月十二日に開駅式が行われスタートしたが、今後、持続可能な健全運営には財務的に危惧される。

収入源として情報館の物産販売が大きな役割りを占めるが、売り上げ予想の達成見通しは。

また、管理運営の移行予定と町費投入の考えは。

#### 答 副町長

物産販売の売り上げ目標の達成については、なかなか難しいと思うが懸命に努力して行きたい。

#### 答 町長

管理運営主体については指定管理者制度の導入を含め、見直しを行う予定である。

今後も運営費としての町費の投入はあり得ると考えている。

#### ■その他の質問

○空き家調査のその後



## みかんブランド化 ダンボール箱の統一

販路拡大に努めたい（町長）

山野忠男議員



問

貯蔵みかんのブランド化に向けたダンボール箱の統一で、今までの各出荷組合での味覚の独自性、初期出荷のリスクにどう対応するのか。統一化の助成と、今後のブランド化の推進策は。

答 産業建設課長

ダンボール箱の統一はみ

## 解体場の設置を

シカ肉の利用拡大を

（副町長）

問

シカの被害が、一九九〇年の雌シカ保護政策や温暖化で急増している。

本町では、猟友会が駆除に当たっているが、捕獲獣の有効活用ができていない。美馬市や那賀町のように解体場を設置しては。また、県の対応は。

答 副町長

那賀町は国の補助で「鳥獣害防止対策事業」を活用し、シカ肉加工施設が整備されており、運営を「四季美谷温泉」に委託している。

また、県ではシカ肉の利用拡大として、流通と衛生管理、消費拡大に向けた研修会を開催している。

答 産業建設課長

解体場設置には、解体従事者の資格や解体許可基準が得られる施設が必要となる。

施設を設置しても、必要な捕獲数が確保できるかなど課題もある。

与川内歩道橋

ホタル祭りまでに  
整備を

問

与川内の歩道橋は、児童、生徒の通学路

答 町長

今後、河川協議が必要であり六月完成は難しいが、交通安全の施設として工期を短くし、早期の完成をめざしたい。



改修予定の与川内歩道橋

## BS放送

### unnecessary 家庭への 勧誘の対応は

受信者個人の問題（総務税務課長）

森本 守議員



たが、契約についてはNHKと受信者個人の問題である。

### 守れるか命の水

森林整備で水源の保全（町長）

**問** 昨年末から町内でNHKの勧誘員が、BS放送の契約を勧め

ている。BS放送受信を内蔵していないテレビの所有者や unnecessary 家庭では問題だが、どのように対応するのか。

**答** 総務税務課長

ケーブルテレビでBS放送の配信をすることになっ

**問** 簡易水道の利用者にとって水は命を守る大切なものである。

町長の所信表明には水を守ることは述べられていない。

**答** 町長

昔から水はただと言われ てきたが、最近の高い時代 になってきた。

森林整備により環境を守り、水源のかん養に努めた

### 「歩育」の必要性

歩数計を貸与

（教育委員会事務局長）

**問**

高度成長期を境にして人は歩かなくな

った。昨年度の全国体力テストでも徳島県は小学五年生の男子で二年連続最下位となっている。勝浦町の実態と今後の施策は。

**答** 教育長

中学生の体力は全国平均より上と思われるが、小学生は県平均程度となっている。

**答** 教育委員会事務局長

小学五年生と六年生に歩数計を貸与し、歩数のチェックと遍路マップへの軌跡を記録し、運動不足の解消

に取り組んでいる。

**答** 町長

イベントについては意見を参考に、元気で笑顔あふれる町づくりをめざして行きたい。

### 婆羅尾林道側溝掃除

重機を利用しては

検討したい

（産業建設課長）

**問**

婆羅尾林道の側溝掃除を臨時職員で実施しているが、来年度も継続できるのか。

また、側溝に大量の土砂が溜まっているが、取り除きに重機を利用してはどうか。



手作業で土砂を取り除き（婆羅尾林道）

**答** 産業建設課長

現在、二人で実施しているが三月末で緊急雇用の期限が切れるので、四月からは一人に対応したい。土砂の取り除きに重機の借上げを検討したい。

### その他の質問

- 住宅リフォームの助成
- 健康について

## 沼江バイパス 進ちよく状況は

年内に完成予定（産業建設課長）

森 健 議員



年中に完成できると聞いている。

周辺整備として天川谷川の改修工事を進めている。未着工区間はバイパス工事というところで考えている。

**問** 現在の進ちよく状況と周辺対策の取り組みは。

また、完成後、未着工区間について町の考えは。

**答** 産業建設課長

順調に進んでいる。補正予算も付き、二十二年度末には実際に通行する路床まで切り取る予定で、二十三

## 町境付近の 県道改良は

用地交渉に努力  
（産業建設課長）

**問** 町境付近の県道改良は沼江バイパスと同時完成が必要だが、その後、進展はあったのか。

町境付近の県道改良は沼江バイパスと同時完成が必要だが、その後、進展はあったのか。

**答** 産業建設課長

以前と変わっていないが、

用地交渉に入れるよう努力している。

## 公金の

管理運用方法は

町の管理運用基準に沿って行っている

（会計管理者）

**問**

公金は具体的にどのように管理運用されているのか。

また、現在の基金の数と金額は。

**答** 会計管理者

指定金融機関の普通貯金口座で管理し、資金に余剰があれば定期預金運用している。管理運用は自治法に定められており、勝浦町公金管理運用基準に沿って行っている。

また、基金数は十四で、二十三年二月末現在の合計残高は二十二億九千九百万となっている。

## みかんブランド化 中身の基準が必要だ

**問**

ダンボール箱は統一されるが、中身の基準がなければブランド化にはほど遠く、販売強化にならない。具体的な方針は。

**答** 産業建設課長

京阪神市場では、二月以降シェアが一位になってい

るのにもかかわらず「勝浦」という名前が知られていない。「勝浦貯蔵みかん」が他の産地と区別されるよう取り扱ってもらいたい思いで統一化を進めている。中身については今までの出荷組合の基準を踏襲して行くが、将来的な課題として取り組んで行きたい。



統一されるダンボール箱（試作品）

## 定住自立圏構想協議

## 徳島市と連携し 県道の完全二車線化を

### 協働して工事の進ちよくを図る(町長)

大西一司議員



### 問

徳島市との間に定住自立圏形成協定の協議が進められているが、この協定締結を機に、本町の最重要課題に位置付けている県道の完全二車線化を徳島市と協調し、県に強く要望すべきだ。特に長柱、飯谷地区の拡幅は喫緊の課題だ。

また、人口減少が予想以

上に進んでいる。若者が定住できる住環境の整備も急務だ。

### 答 町長

長柱地区の狭あい部分は一部で改良が進んでいるが、肝心なところの進ちよくが見られない。圏域内外を結ぶ道路網の整備促進の連携を通じ、徳島市と協働して



改良が急がれる狭あいな県道(長柱地区)

事業を進めて行きたい。

また、人口減少の抑制は県道二車線化と並び重要な課題だ。今後、定住できる住環境の整備促進の具体的な方向性を出して行きたい。

## 県単急傾斜地崩壊対策事業 受益者の負担軽減を

### 申請者少なく

### 対応が必要(町長)

### 問

平成十八年度から受益者負担が三十%から四十五%に増加したため、多額の負担に耐えられず申請を辞退する人が増え、事業が以前に比べ大幅に減少している。防災対策の面からも事業を進展させるべきで、補助率を増額するよう強く県に要望すべきだ。

### 答 町長

最近の申請件数が少ないのは補助率の減少が原因と思われるが、本場に必要箇所が負担増によって着手できていない。対応が必要と考えている。

## 防犯灯新設の認可を

### 消防団や地区役員と

### 協議して行く

(総務課長)

### 問

現在、防犯灯の新設は認められていないが、人口が増え小さな子供たちがいる地区の親たちは心配が耐えない。防犯対策が重視されている現在、十数年前に決めた内規を見直し、必要などころには新設を認めるべきだ。

### 答 総務課長

人口の減少化、維持管理費の節減の意味から新設はしていないが、防犯上深刻な状況であるとか、災害対策等で安全確認に支障が生じる場合については今後、消防団や地区役員と協議し検討して行く。

## その他の質問

○農業政策について

○TTP 関税撤廃で

本町農業への影響は

○戸別補償新制度の内容と

本町への影響について

## 高校中退者、 中卒者の支援を

教育委員会で相談室を設置

(教育長)

井出美智子議員



を設置している。私を中心となり対応したい。

**答 副町長**

徳島県労働者福祉協議会内に地域若者サポートステーションを設置し、訪問相談事業等を行っている。

**スポーツクラブで健康づくりを**

**問**

不況で高校、大学を卒業しても厳しい就職状況で、高校中退者や中卒者は、さらに厳しい状況にある。学校から離れ、就職できない若者にもきめ細やかな支援が求められている。町民に様々な施策の周知をするべきでは。

**答 教育長**

教育委員会に相談室

**答 福祉課長**

健康運動指導士

を配置すれば様々な取り組みも可能になる。しかし、高齢者の移動手段をどうするかが検討課題である。

**地域活性化のためのリフォーム助成事業を**

**問**

経済対策、若者定住対策、子育て支援高齢者対策を兼ねた二世帯住宅、三世帯住宅リフォームにそれぞれ二十万円、三十万円の助成をしたらどうか。

**答 町長**

従来の耐震リフォーム、バリアフリー事業を利用して欲しい。

**生ゴミの**

**減量化と資源化を**

**研究を進めて行く**

(住民課長)

**問**

生ゴミの資源化、減量化の新たな取り組みと、各分別ステーションの実情に合った補助をしてはどうか。



整備された分別ステーション(今山地区)

**答 住民課長**

新たな方法について考える時期にきている。生ゴミについても研究して行く。

**就学援助費の支給拡大を**

現行のまま

対応して行く(町長)

**問**

新学習指導要領により、部活動も教育活動として位置付けられている。就学援助費のクラブ活動費、生徒会費、PTA会費の三項目は交付税措置されている。神山町や佐那河内村のように支給項目に加えるべきだ。

認定基準も生活保護の一・三倍から一・四倍に引き上げては。

**答 町長**

クラブ活動費、生徒会費、PTA会費の三項目を支給しているのは、二町にとどまっている。もう少し他市町村の動向を見極めたい。認定基準は、現行のままで行く。

## 「道の駅」情報館

# 基本方針は達成されているか

大きく外れてはいない（副町長）

松田貴志議員



### 問

昨年五月に議会に示された情報館の整備基本方針に四つのコンセプトあるが、何一つ満足に達成されていない。お接待の気持ちを感じられる癒しの場の提供や、町民が協働してはぐくむまちづくりの交流サロンは確保できているのか。



「道の駅」交流スペースは十分か？

### 答 副町長

物産コーナーのベンチや軒下のテーブルなどを利用し、接待の心を感じて欲しい。飲食スペースは、自由に出入りできる交流スペースとして活用できるよう、間仕切りを取り払えるか検討したい。

### 問

観光やイベント情報の発信が不十分では。

また、四月から「情報館」を四名で運営するというのが、職員体制は十分か。

まちづくり協力隊員の二名が、町内の関係団体との連携構築やイベント企画等に専念できるように、新たに職員を補充するべきでは。

### 答 副町長

現状の情報発信が十分ではないと認識している。今後、職員一丸となって対応したい。

総じて、従来の計画から大きく外れていないと考える。

### 答 町長

職員体制については、状況に応じて対応したい。

## 行財政改革

## 職員研修を民間企業で

## 他の自治体への派遣が

効果的（町長）

### 問

新たな行財政改革プランが示されたが、

二十一年度まで取り組んだ集中改革プランで未着手、未達成の項目が反映されていない。開庁時間延長への取り組みや行政評価システムの導入はどうなっているのか。

また、人材育成として、職員研修を民間企業で実施してはどうか。

### 答 町長

開庁時間の延長は、町民からの要望がなく取り上げていない。

民間への職員派遣については徳島市などで取り組んでいると聞くが、他の自治体に派遣する方が効果的であると考えている。

### 答 副町長

行政評価システムについては取り組めていないが、予算編成の中で事業の必要性等について検証し、できる限り政策評価と同様の効果が出るように努力したい。

## 新年度予算の基本は

### 農業・交流定住のまちづくり

(町長)

西浜勝己 議員



**問**

三十八億九千八百万円の当初予算。「勝浦町総合計画元年」と位置付けて積極果敢に取り組みと表明した。基本は何か。

**答** 町長

総合計画は今後十年間の基本構想であり、これからのまちづくりの指針、方向性で、いかに事業執行して行くかを述べたもので、特

に農業・文化・定住のまちづくりをさらに推進して行きたいと考えている。

**答** 総務税務課長

主要事業は勝浦中学校の改築、横瀬小学校耐震補強、グループホームの増床などがある。

町道整備  
無原則では困る

区長会までに整理する

(町長)

**問**

町道整備の二十二年度の執行状況と新年度に向けた取り組みについては、区長会で申請方法や問題点を整理する必要があるが。

**答** 町長

町道整備については一定のルールづくりが必要であり、優先順位も含め十分整理し、区長会に間に合うよう取り組みたい。

**答** 産業建設課長

二十二年度の町道改良及び舗装修繕等の要望は百一カ所で、執行は二十カ所である。

地籍調査体制の  
確立を

**問**

町長は所信表明で、地籍調査は区域拡大で取り組むたいと言っているが、早急な課の体制づくりが必要でないか。

**答** 町長

二十三年度は前年度に比べて五倍の二千五百万円を計上している。体制を整え推進して行きたい。

**答** 産業建設課長

調査区域の拡大に向けて中山地区の組織体制が確立

できた。  
課の体制については専任一人、補助一人である。

立川焼却場に  
係る覚書

協議会を開いている

(町長)

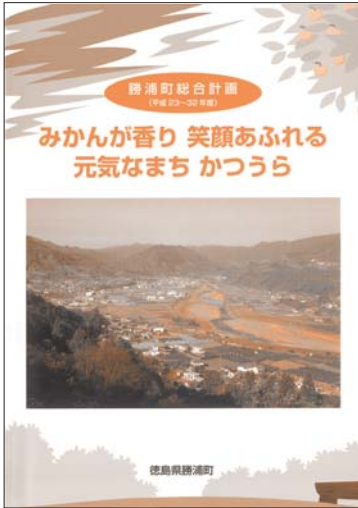
**問**

二度のゴミ焼却場建設に、立川地区住民や土地所有者と「覚書」を交わしている。町は誠実に守らなければならない義務があるが、どう認識しているのか。

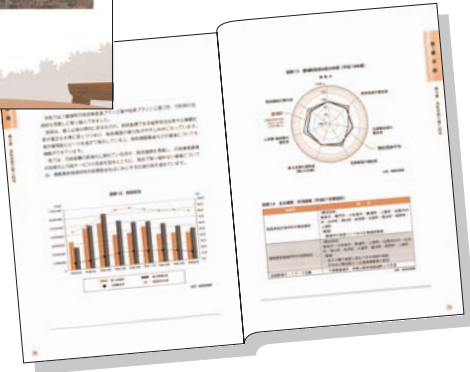
**答** 町長

立川地区と町道、林道森林整備を実施するという「覚書」がある。

現在も立川の関係者と年一回協議会を持ち、過去の約束ごとを風化させないようになっている。



新しく策定された「総合計画」

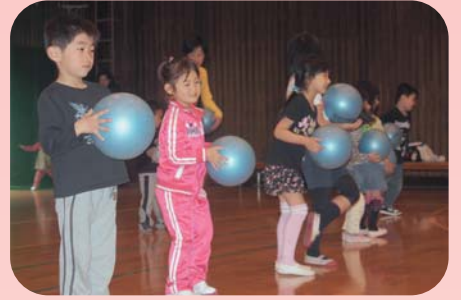




# K-Friends

ケイフレンズ

会員数464人  
(3月31日現在)



## ちびっこあそび塾・運動あそび塾

ちびっこあそび塾(4~7歳対象)と運動あそび塾(小学生対象)は、子供たちが本来もっている「無限の可能性」を引き出し、体力向上と低年齢化生活習慣病の予防につながるなど、「スポーツ大好き！」な子供たちが増え、からだ「元気」こころ「健康」そして笑顔に…。



鈴江国明先生

この塾で、全身を使ってあそび運動する楽しさや、少し難しいことにもチャレンジして、達成した歓びを感じてほしい。

(徳島市体操協会所属、徳島体操クラブ指導)



永岡志津枝先生

### インタビュー

この塾で一番楽しいことは！

- トランポリンが一番楽しい。 <T・Kちゃん>
- 塾に来て、側転ができるようになった。 <H・Iちゃん>
- 飛び箱が一番楽しい。 <Y・Sちゃん>
- マットであそぶのが一番楽しい。 <K・Hさん>
- いろんなことが体験できて楽しい。 <S・Oさん>

### 日程

毎週土曜日

- \* ちびっこあそび塾  
午前10時~10時50分
- \* 運動あそび塾  
午前11時~12時

場所:町民体育館

### 問い合わせ・申し込み先

K-Friends事務所(町民体育館、改善センター)  
電話・FAX 0885-42-3671

### ちびっこあそび塾



### 運動あそび塾



議会も常に改革に向け「議会をよりよく通じて皆さんに情報を提供し、議会活動をより身近に感じてほしい」と思っている。

広報委員五人もこの五十五号で最後の編集になった。一生懸命やって来たが、どれだけの方に愛読してもらったか気になる所である。

今年には議会議員の改選期である。さて次回からはどんな広報委員会ができるのか楽しみに。

議会改革のため九月定例会から、一般質問を今までの一括方式から一問一答方式に変更した。この事により質問者も答弁者もより分かりやすいものになっている。

三月定例会においては所信表明や「道の駅」情報館、徳島市との定住自立圏構想などで議論も一段と活発化してきた。

### 編集後記

